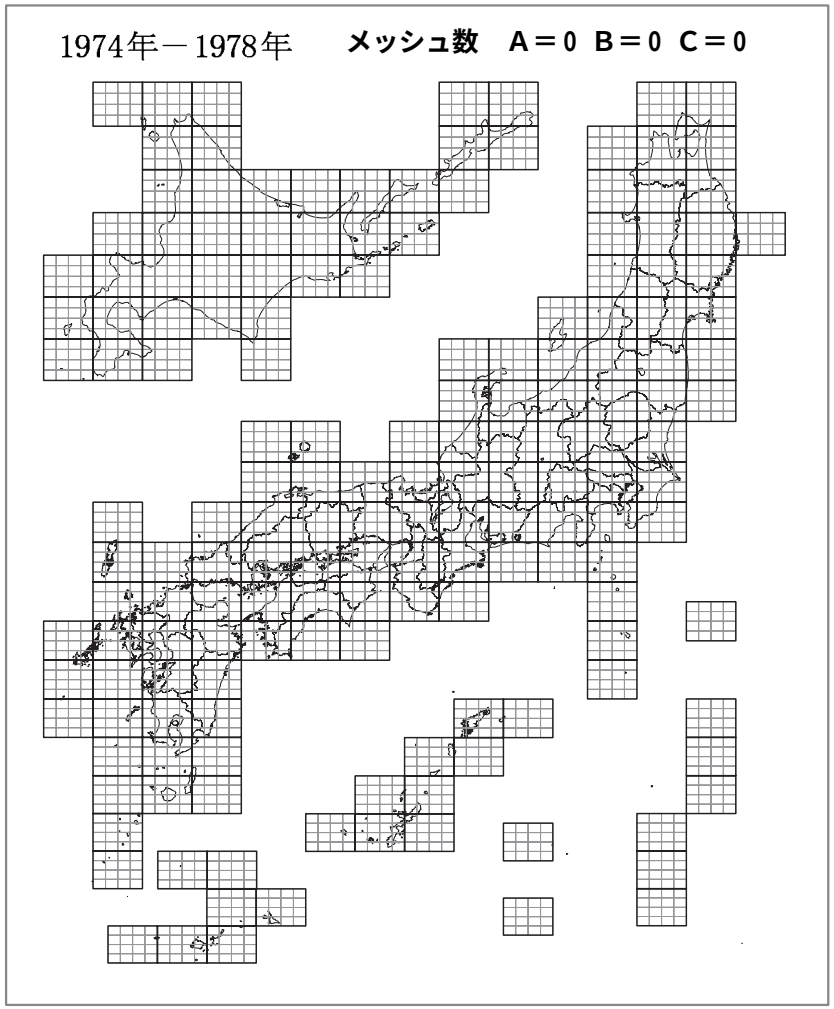
カツオドリ

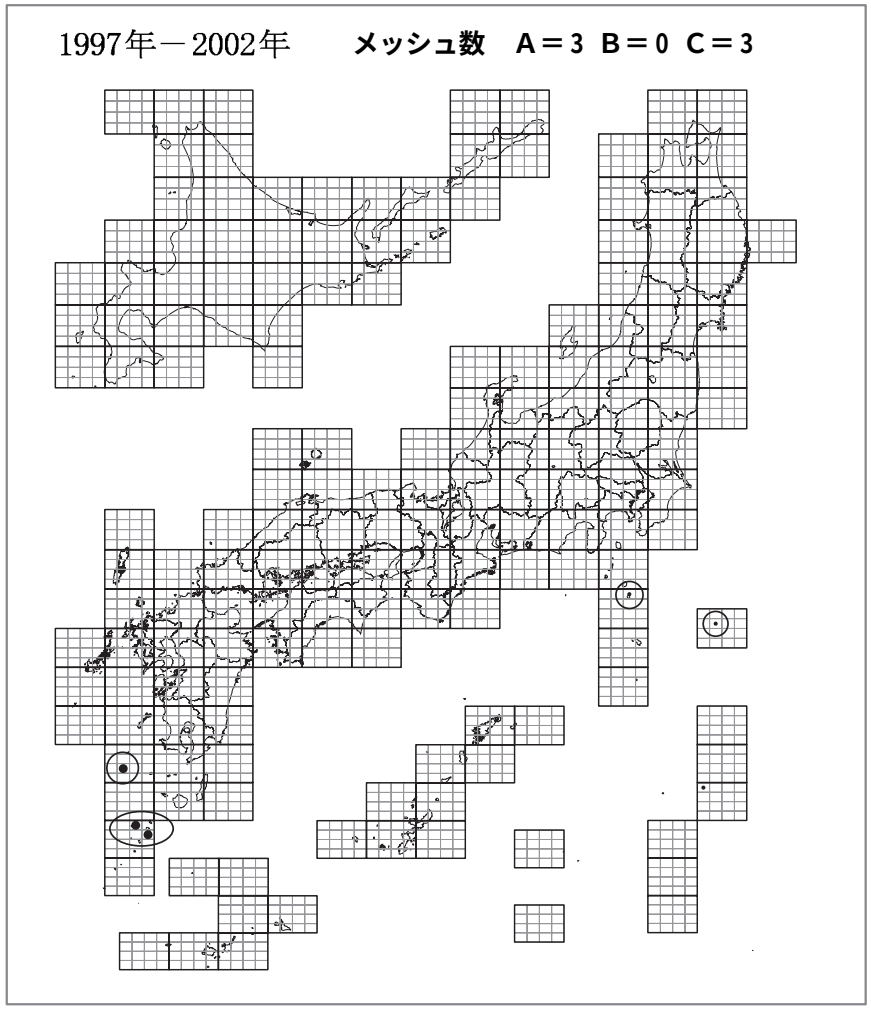
(分類) ペリカン目カツオドリ科　*Sula　leucogaster*

(環境省 RDB 種)　－

(分布) 伊豆、小笠原、硫黄列島、東シナ海の島嶼で繁殖記録がある。熱帯から亜熱帯の海域に広く分布。

(生態) 岩棚や草地で営巣する。1～2 卵を雌雄で 45 日前後抱卵し、ヒナは約 100 日で巣立つ。海上でホバリングし、トビウオ、イカや小魚を見つけると飛び込んで捕らえる。





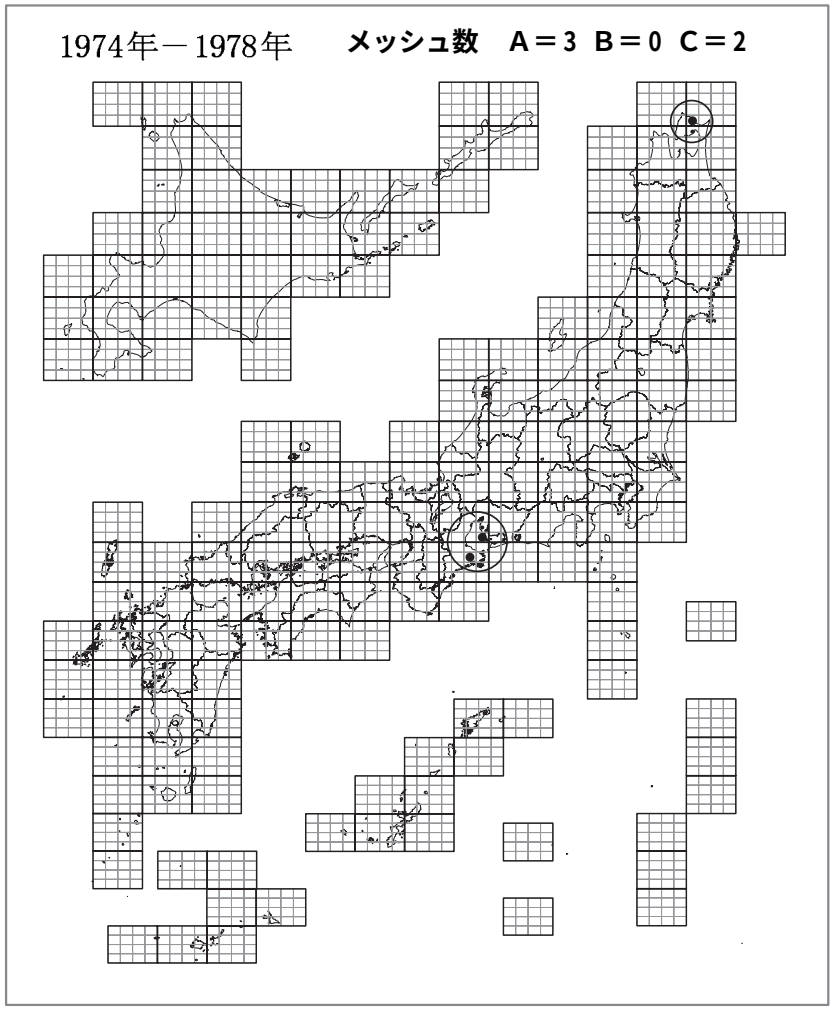
カワウ

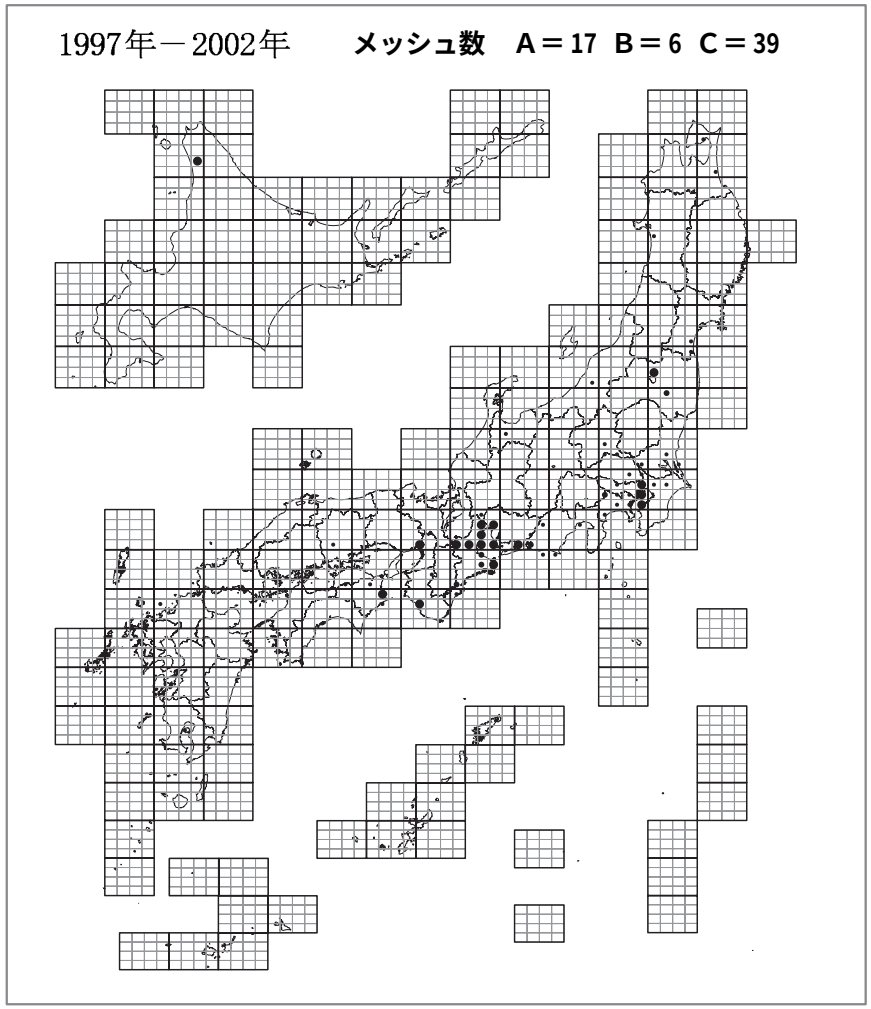
(分類) ペリカン目ウ科　*Phalacrocorax　carbo*

(環境省 RDB 種)　－

(分布) おもに本州以南の水域で留鳥。世界の水域に広く分布。

(生態) 水辺の樹木で集団で営巣する。3～4 卵を約 30 日抱卵し、約 45 日齢で巣立つ。おもに潜水して小～中型の魚類を採食する。夏は浅い海水域に多く、冬は内陸の水域を利用することがわかってきた。





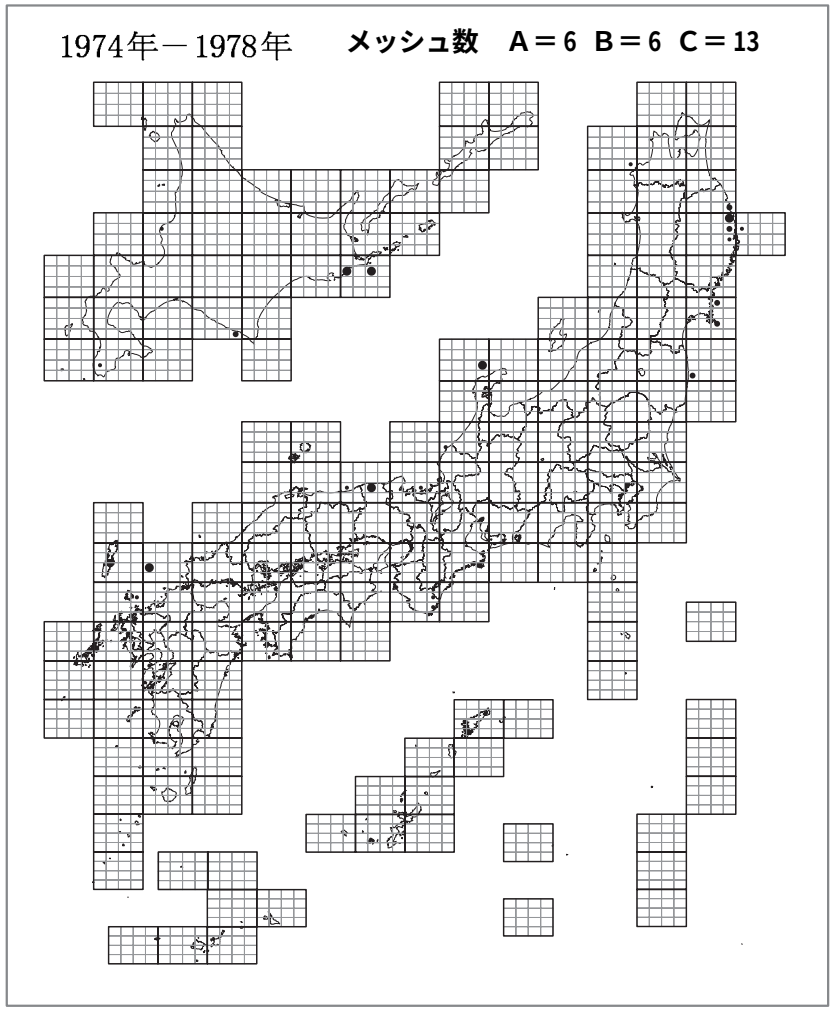
ウミウ

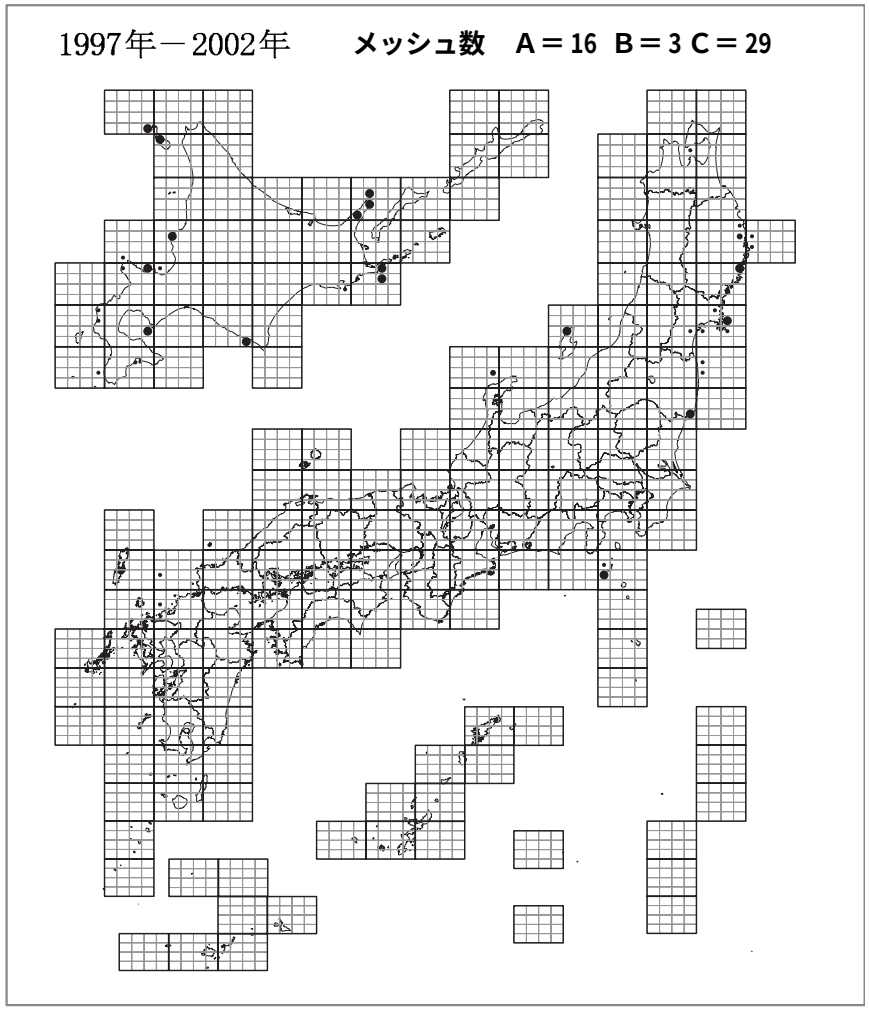
(分類) ペリカン目ウ科　*Phalacrocorax　capillatus*

(環境省RDB種)　－

(分布) おもに本州中部以北の沿岸や島嶼で繁殖。南部で越冬。日本近海のみに分布。

(生態) 海岸にすみ、集団で岩棚などに海藻などで巣をつくり、2～5卵を産む。潜水して魚を捕食する。日本の繁殖数は2,000～3,000つがいと推定されている。





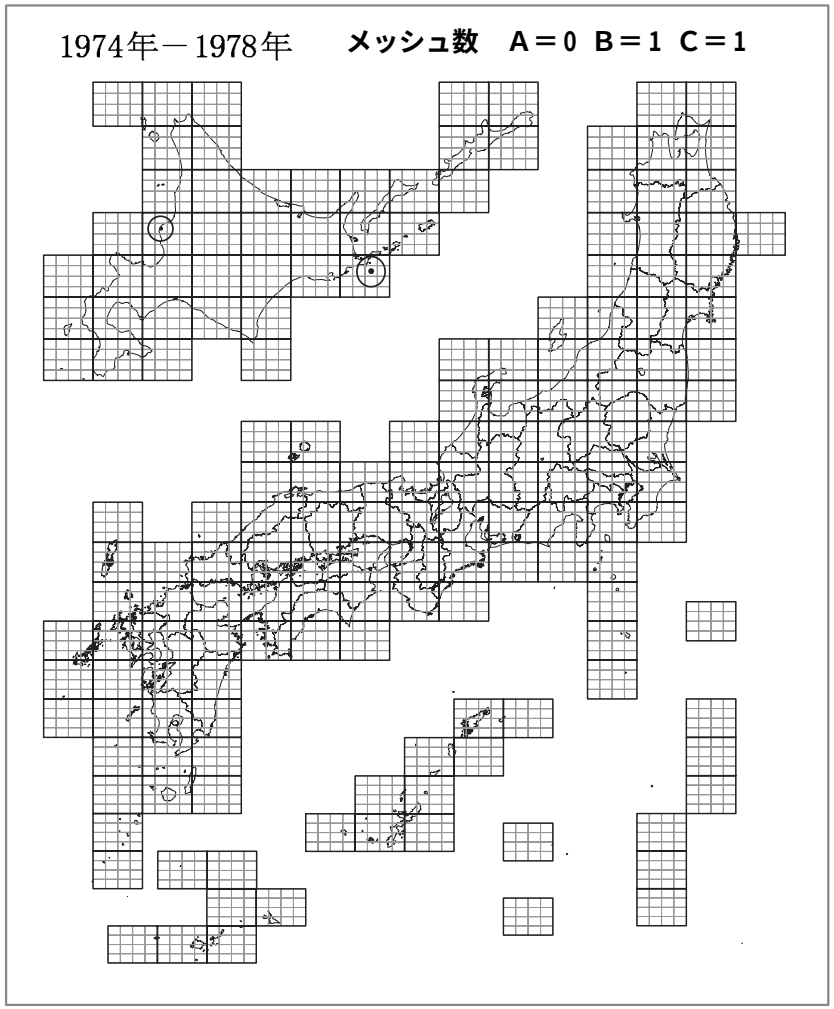
ヒメウ

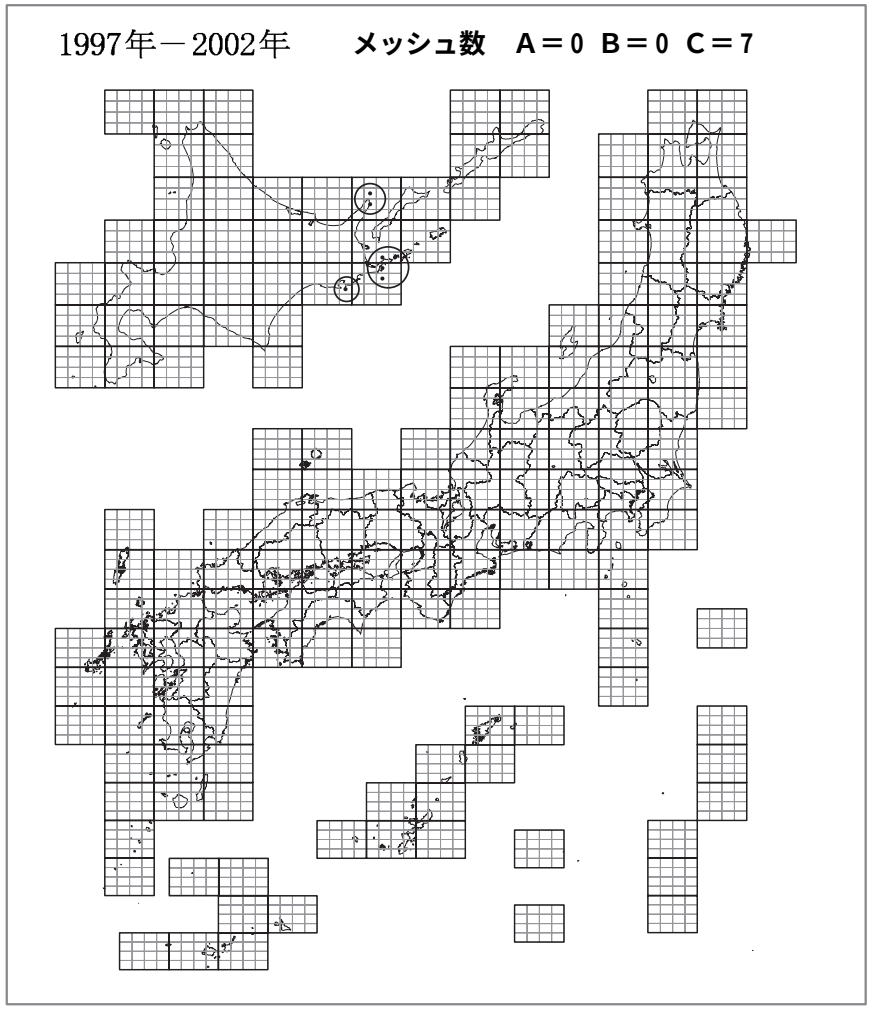
(分類) ペリカン目ウ科　*Phalacrocorax　pelagicus*

(環境省 RDB 種)　－

(分布) 本州北部などの日本海沿岸や北海道で繁殖。全国各地の海岸で越冬。北米沿岸、ベーリング海、オホーツク海、千島列島沿岸などに分布。

(生態) 5～7月に海岸や島嶼の崖の岩棚に集団で営巣する。平均3卵を産むが、詳細な繁殖生態はわかっていない。潜水してキュウリウオ、イカナゴなどの小魚や甲殻類を捕食する。

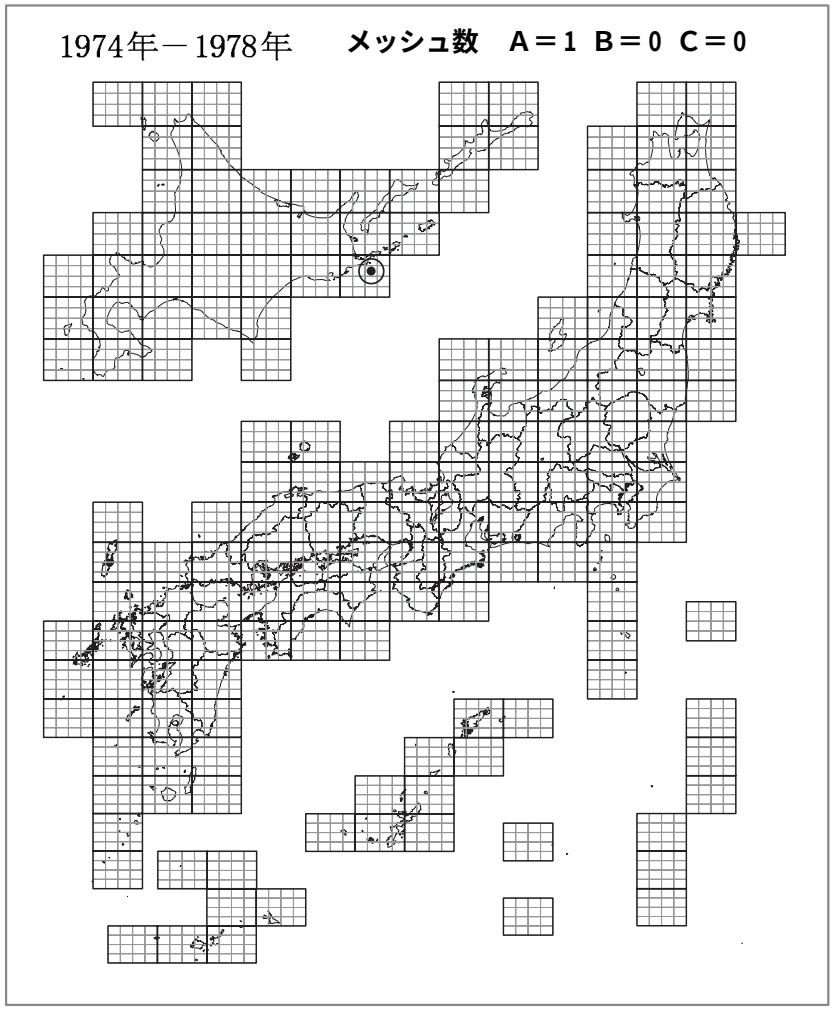
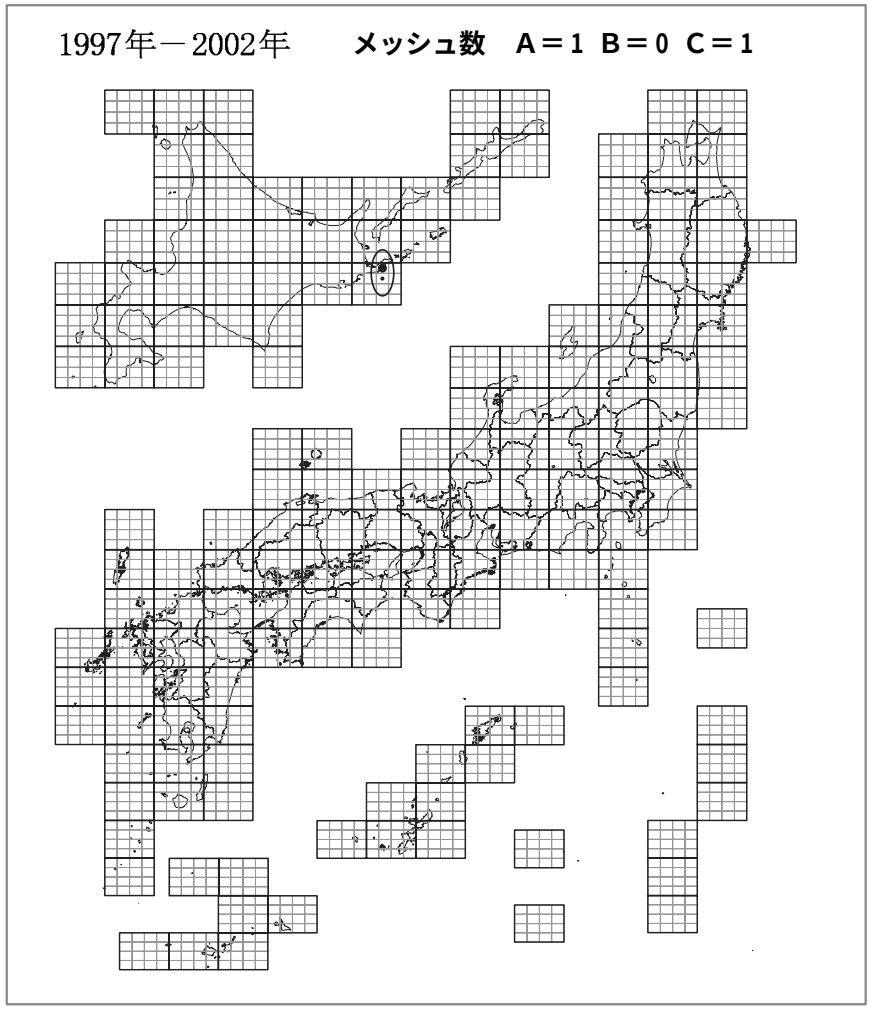




チシマウガラス

(分類) ペリカン目ウ科　*Phalacrocorax　urile*

(環境省RDB種)　絶滅危惧ＩＡ類

(分布) 根室沖の離島で繁殖。本州北部以北の沿岸で越冬。アラスカ沿岸、アリューシャン列島沿岸、千島列島沿岸に分布。

(生態) 5～6月に崖の岩棚に集団で営巣する。3～5卵を産み、7月頃には巣立ち雛がみられる。潜水して魚類や甲殻類を捕食する。日本での繁殖数は1970年代、150つがいから1990年代の15つがいに減少した。